

## 2023年度

科目名称	柔道整復学実習
授業コード	BH124
英語名称	Reposition by Judo practice 1
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	畑山 元政 (医療科学部), 山中 博之 (医療科学部), 浅木 健治 (医療科学部)
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	柔道整復師が日常の診療業務で外傷や応急処置に対して行う、固定の目的・種類・方法を実技実習を通して学ぶ。学生間でお互いの身体に包帯を巻くことにより、様々な体型や部位に関わらず包帯を巻けるようにする。また、様々な外傷に応用できる固定法を学び、柔道整復師の保存療法の適応についても理解する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	長年接骨院で患者をみてきた柔道整復師の教員が、現場での施術経験を活かし包帯固定について教授する。実際に接骨院で施術の際、患者に巻いている包帯や固定を紹介する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝承的（経験的）医療から近代医療の最新知識を修得し、科学的理論と伝承的医療技術を総合的に理解する能力を身につけ、痛みを訴える患者の心を理解し、解決への運用には協調性及び社会生活を円滑に保持し人間性を希求する態度を修得する。</li> <li>・ディプロマポリシーに掲げる柔道整復師に必要な医学的知識・技術および基本的技能を有することができる。また、柔道整復の応用力・実践力、主体性やコミュニケーション能力を身につけることができる。</li> </ul>
計画・内容	<p>1-2) ガイダンス、包帯固定法（概論）【担当教員：畑山、浅木、山中】 予習：包帯固定 復習：基本包帯法</p> <p>3-4) 基本包帯法 1 【担当教員：畑山、浅木、山中】 環行帯・螺旋帯・蛇行帯 予習：基本包帯法 復習：基本包帯法</p> <p>5-6) 基本包帯法 2 【担当教員：畑山、浅木、山中】 折転帯・亀甲帯・麦穂帯 予習：基本包帯法 復習：基本包帯法</p> <p>7-8) 部位別包帯法 1 【担当教員：畑山、浅木、山中】 肩部・股関節部 予習：部位別包帯法 復習：部位別包帯法</p> <p>9-10) 部位別包帯法 2 【担当教員：畑山、浅木、山中】 肘部・膝部・前腕部・大腿部 予習：部位別包帯法 復習：部位別包帯法</p> <p>11-12) 部位別包帯法 3 【担当教員：畑山、浅木、山中】 足関節部 予習：部位別包帯法 復習：部位別包帯法</p> <p>13-14) 部位別包帯法 4 【担当教員：畑山、浅木、山中】 足関節部 予習：部位別包帯法 復習：部位別包帯法</p> <p>15-16) 部位別包帯法 5 【担当教員：畑山、浅木、山中】 手関節部・手指部・下腿部・足趾部 予習：部位別包帯法 復習：基本包帯法</p> <p>17-18) 部位別包帯法 6 【担当教員：畑山、浅木、山中】 頭部・胸部・背部 予習：部位別包帯法 復習：基本包帯法</p> <p>19-20) 冠名包帯法 1 【担当教員：畑山、浅木、山中】 ヴェルポー包帯、ジュール包帯 予習：冠名包帯法 復習：冠名包帯法</p> <p>21-22) 冠名包帯法 2 【担当教員：畑山、浅木、山中】 デゾー包帯 予習：冠名包帯法 復習：冠名包帯法</p> <p>23-24) 理解度の確認 1 【担当教員：畑山、浅木、山中】</p>

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>予習：基本包帯法                      復習：部位別包帯法                  25-26) 理解度の確認2 【担当教員：畑山、浅木、山中】                  予習：部位別包帯法                      復習：部位別包帯法                  27-28) まとめ1 [基本包帯法] 【担当教員：畑山、浅木、山中】                  予習：既習範囲                              復習：既習範囲                  29-30) まとめ2 [部位別包帯法] 【担当教員：畑山、浅木、山中】                  予習：既習範囲                              復習：既習範囲</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>教科書「包帯固定学」をもとに基本包帯法を反復練習しながら授業を進めていく。                  担当教員が各グループを見て回り、適宜指導を行う。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>授業で学習した包帯を友達や家族に巻いたり、実際に包帯を巻かれてその実体験をする。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>予習：講義予定の部位について教科書・参考書を参照し、キーワードに関して基本的な理解を得ておく。                  復習：実習で得た知識をノートなどにまとめる。また、実習で得た技術は反復練習を行い技術の向上を図る。                  予習、復習を必ず実施し包帯に早期に慣れるように努める。                  授業で実施した包帯法は自宅等で練習すること。                  授業前には教科書の該当範囲を読み、不明な箇所はまとめ授業の際に確認する（各回1時間～2時間程度）                  授業後は教科書や配布プリントを関連付けて講義ノートを整理する（合計60時間程度）</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>教科書：包帯固定学 改訂第2版（全国柔道整復学校協会監修・南江堂）、柔道整復学・実技編 改訂第2版（全国柔道整復学校協会・南江堂）</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>実技試験（100％）により評価する。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>各学生の進捗状況の確認の都度、コメントを行う。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>Campus Squareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京柔道整復学科内規にある適切な身だしなみで授業に参加すること。</li> <li>・授業の進行状況により内容が変更される場合もあるためその際は事前に連絡をする。</li> <li>・授業内の反復練習だけでは技術の向上は難しいため、授業以外でも個人またはグループでの練習を重ねて技術の向上を目指す事が重要である。</li> </ul>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方                  zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。                  成績評価方法と基準                  課題、レポートを総合的に評価する。（100％）</p>